

令和7年度 小学校教育課程研究協議会 体 育



令和7年7月23日(水)

1

改訂から8年目

平成28年12月21日「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別
支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について(答申)」



2014 中教審諮問
2016 中教審答申
2017 指導要領改訂
2020 全面実施
2025

成果



2

生きる力



学習指導要領を紹介するリーフレット(文部科学省)

これからの社会が、
どんなに変化して
予測困難になっても、
自ら課題を見つけ、
自ら学び、
自ら考え、判断して行動
し、
それぞれに思い描く
幸せを実現してほしい。

3

生きる力



学習指導要領を紹介するリーフレット(文部科学省)

4

生きる力

生きる力

学びの、その先へ

学習指導要領
新しい学習指導要領

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、
豊かなスポーツライフを実現する



ための**資質・能力**を育成する。

5

3つの資質・能力

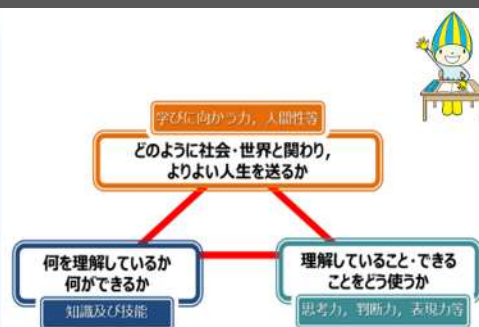
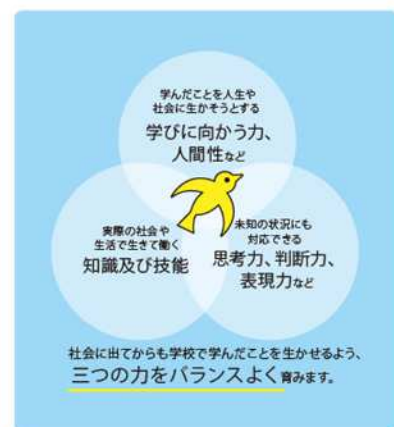
体育科の目標

柱 書	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
知識及び技能	その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

小学校学習指導要領解説 体育編P 17

6

3つの資質・能力



3つの資質・能力を確実に身に付ける

7

授業改善と評価の改善



単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**を行うのと同時に、**評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価**することを示し、**授業の改善と評価の改善を両輪として行っていく**ことの必要性を明示。



8

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

グループ協議（30分）

【協議題①】

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、どんな工夫をされましたか？

- ・教材の工夫
- ・単元の工夫
- ・単位時間の工夫 等

持ち寄った資料をもとに実践交流



9

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学ぶ「目的」と「必然」、
「追求の視点」や「学び方」を共有

導入

- ◆「何ができるようになるのか」
終末を具体的にイメージ
 - ・前時の姿から課題を把握
 - ・目指す動きを理解 等
- ◆1人1人の子供が解決の見通しをもつ
 - ・技術ポイント
 - ・状況判断の視点 等

やってみ
たい！

こうしたら
できそう



10

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

自ら学びを調整できるように工夫、助言

◆課題解決に向け

もっとこうし
てみよう！

体育の見方・考え方を働かせながら

粘り強く主体的に取り組んだり
対話的な活動で仲間の考え等を取り入れたり

できた！



展開

11

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

自ら学びを調整できるように工夫、助言

展開

Aさん

もっとこうしてみよう。

～を見ていてね。

どうやってやっているの？

わかった。もう1回やってみる。

Bさん

…だったよ。
もっと～してみたら…

僕は…を意識してやっているよ。

仲間との対話（グループ・ペア活動
の工夫） 見合い、教え合い



12

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

自ら学びを調整できるように工夫、助言

展開

教師

今、どうするとよかった？

今、どんな感じだった？

～を意識してできたね。ナイス！

何を意識したらできたの？

〇〇を意識してみたら。

課題に立ち返らせる言葉かけ

課題気付かせる言葉かけ

動きと価値をつなぐ言葉かけ

思考を促す言葉かけ

行動を価値付ける言葉かけ

過程と結果をつなぐ言葉かけ

子供と子供をつなぐ言葉かけ

意欲を価値付ける言葉かけ



13

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

追求過程や達成状況を 実感できるように工夫

終末

◆本時の「ねらい」や「運動の高まり」から、次時への意欲をもつ

わかった！

次の時間は…



14

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学びの過程や達成状況を 実感できるように工夫

終末

技能が「できた」「上手くなった」の実感だけではなく、
多様な「できる」を実感

- ・自分の課題を設定して粘り強く取り組むことが「できた」こと
 - ・工夫をしながら取り組むことが「できた」こと
 - ・仲間によりアドバイスが「できた」こと
- など

取り組み方、仲間への関わり方等を認め合ったりできると自分や仲間と学ぶよさを実感

『運動は得意でないけど、体育は得意』



15

指導と評価の一体化

指導と評価を一体化するってどういうこと？

16

指導と評価の一体化

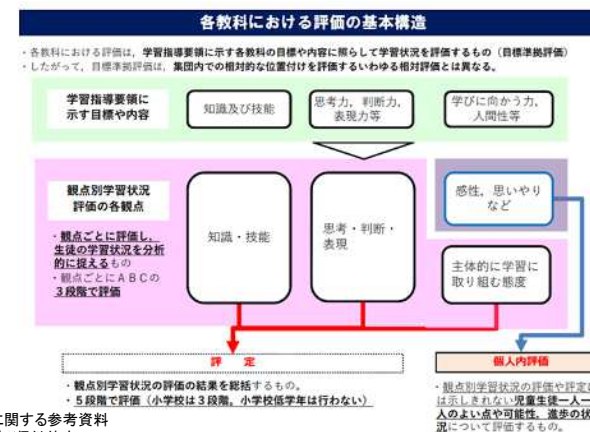
バランスのよい指導計画を立て、
計画に沿って指導を行い、
指導したことを評価すること



17

指導と評価の一体化

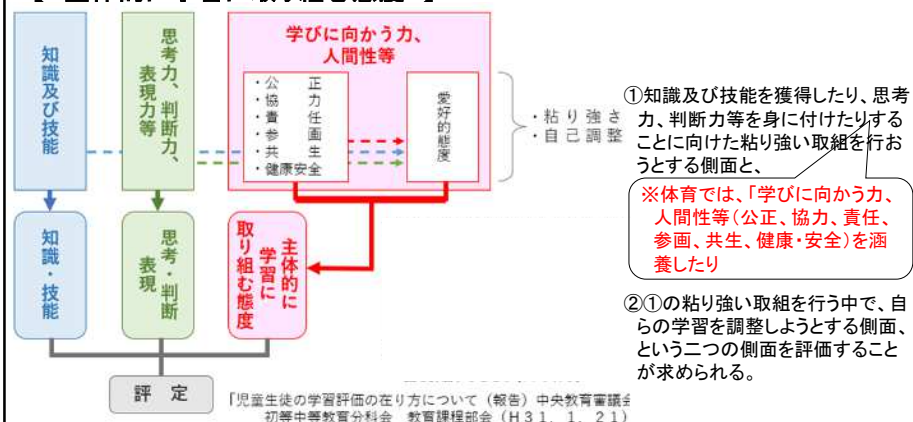
【 評価の基本構造 】



18

指導と評価の一体化

【 主体的に学習に取り組む態度 】



19

指導と評価の一体化

【 体育・保健体育は特別＝指導事項 】



3 各教科等によって、評価の対象に特性があることに留意する必要がある。例えば、
体育・保健体育科の運動に関する領域においては、公正や協力などを、育成する「態度」として学習指導要領に位置付けており、各教科等の目標や内容に対応した学習評価が行われることとされている。

【 指導事項 】

■公正 ■協力 ■責任 ■参画 ■共生 ■健康・安全

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
小学校 体育 P11

20

指導と評価の一体化

【 共生 】

共生

現行の学習指導要領における新たな視点

個々の児童の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童自らが運動の課題の解決を目指す活動を行えるよう工夫すること。特に、運動を苦手と感じている児童や、運動に意欲的に取り組まない児童への指導を工夫するとともに、**障害のある児童などへの指導の際には、周りの児童が様々な特性を尊重**するよう指導すること。

小学校学習指導要領 体育編 P 167

体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、**運動の多様な楽しみ方を共有**することができるよう留意すること。

中学校学習指導要領 保健体育編 P236

21

指導と評価の一体化

【 単元ごとの学習評価の進め方 】

①単元の目標を作成

②単元の評価規準を作成

③「指導と評価の計画」を作成

授業を行う

④観点ごとに総括

○学習指導要領の目標と内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
○児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。

○①②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
○どのような評価資料(児童の反応やパフォーマンスなど)を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えた時、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えた時。

○③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。

○集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价(A,B,C)を行う。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P39

22

指導と評価の一体化

【 知識及び技能 】

小学校学習指導要領解説
体育編 P174～179



C 陸上運動系			
低学年	中学年	高学年	中学校
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動	陸上競技
○30～40m程度のかけっこ いろいろな形の跳上等を真つ直ぐに走ったり、前向きして走ったりする ○約50mの距離を走り、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○30～40m程度のかけっこ いろいろな形の跳上等を真つ直ぐに走ったり、前向きして走ったりする ○約50mの距離を走り、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○40～60m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○50～100m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る
○1,000～3,000m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○1,000～3,000m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○1,000～3,000m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る	○1,000～3,000m程度の距離を走る スタートから、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る ○走りながら、自分の身体を思い通りに動かして走る

23

指導と評価の一体化

【 知識及び技能 】

知識及び技能



中学年 小型ハードル走	高学年 ハードル走	中学校 ハードル走
○いろいろなリズムでの小型ハードル走 ・インターバルの距離や小型ハードルの高さに応じたいろいろなリズムで小型ハードルを走り越える ○30～40m程度の小型ハードル走 ・一定の間に並べられた小型ハードルを一定のリズムで走り越える	○40～50m程度のハードル走 ・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越える ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真つ直ぐ走る ・インターバルを3歩または5歩で走る	○50～80m程度のハードル走 ・ハードルを5～8台程度置く ・インターバルを3または5歩でリズムカルに走る ・遠くから踏み切り、勢よくハードルを走り越す ・抜き足の膝を折りたたんで前に運ぶなどの動作でハードルを越える

24

指導と評価の一体化

【 思考力、判断力、表現力等 】

小学校学習指導要領解説
体育編 P182、183

[illegible]

指導と評価の一体化

【 学びに向かう力、人間性等 】

小学校学習指導要領解説
体育編 P184、185

[illegible]

指導と評価の一体化

【 思考力、判断力、表現力等 】

思考力、 判断力、 表現力等 (器械運 動系)	低学年	中学年	高学年	中学校(1・2年)
	走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競走(争)の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える

■「思考力、判断力」は3段階で指導（場や発問をの工夫）

- ①生徒が課題を見付ける段階
- ②課題の解決に適した活動を選ぶ段階
- ③選んだ活動を自分なりに工夫する段階



指導と評価の一体化

【 学びに向かう力、人間性等 】

学びに向かう力、人間性等 (共生)	低学年	中学年	高学年	中学校(1・2年)
		・友達の考えを認める	・仲間の考えや取組を認める	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする



指導と評価の一体化

【 バランスのよい指導計画 】

① 3つの資質・能力ごとの単元目標

② 単位時間の学習の流れ

③ 評価機会 及び 評価方法

④ 評価規準



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 保健体育P58

29

指導と評価の一体化

【 バランスのよい指導計画 】

① 3つの資質・能力ごとの内容を ②どの時間どのように指導し
③どのような姿や動きを見現させ ④どのような評価規準で
⑤何によって見取るか



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 保健体育 P58

30

指導と評価の一体化

【 学習評価の留意点 】

- ・ 指導したことを評価する原則
- ・ おおむね満足と判断できる状況を実現できるための手立て
- ・ 運動の技能は評価規準による質的評価



31

グループ協議会

① 3つの資質・能力ごとの単元目標

② 単位時間の学習の流れ

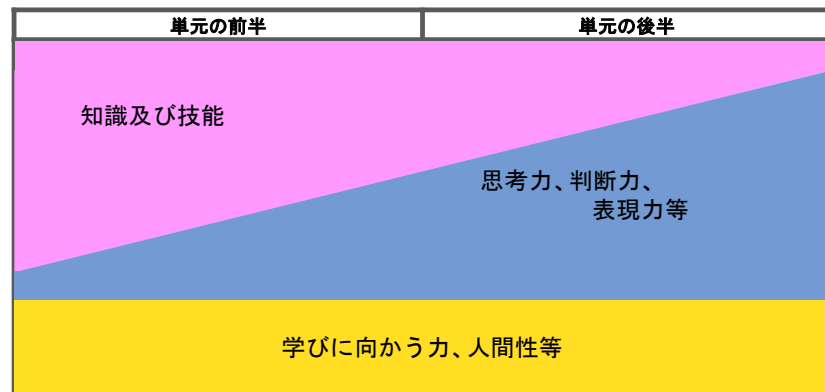
③ 評価機会 及び 評価方法

④ 評価規準



32

グループ協議会



33

グループ協議会

単元	学習目標	学習内容	学習活動	評価方法
1	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
2	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
3	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
4	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
5	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
6	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
7	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標

① 3つの資質・能力ごとの単元目標

② 単位時間の学習の流れ

③ 評価機会 及び 評価方法

④ 評価規準



34

グループ協議会

単元	学習目標	学習内容	学習活動	評価方法
1	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
2	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
3	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
4	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
5	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
6	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
7	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標

① 3つの資質・能力ごとの単元目標

② 単位時間の学習の流れ

③ 評価機会 及び 評価方法

④ 評価規準



35

グループ協議会

単元	学習目標	学習内容	学習活動	評価方法
1	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
2	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
3	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
4	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
5	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
6	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標
7	単元の目標	単元の目標	単元の目標	単元の目標

36

グループ協議会①

■「思考力、判断力」は3段階で指導（場や発問等の工夫）

①生徒が課題を見付ける段階

②課題の解決に適した活動を選ぶ段階

③選んだ活動を自分なりに工夫する段階

各段階において、どのような場や発問等の手立てを講じるとよいのか。指導の具体を考える。

37

グループ協議会①

グループ協議（40分）

【協議題②】

第5時間目の「思考力、判断力、表現力等」に重きをおいた「高跳び」の授業において、どのような「導入」「展開」が考えられるか

（学習内容や学習活動、教師の問い、その意図 など）

<思考力、判断力、表現力等の目標>

助走のリズムや踏切りなど、自己の課題を見付け、その課題解決のための練習の場を選べるようにする。



38

指導と評価の一体化

「思考・判断・表現」の評価

- ・「自己の課題を見つけているか」「自己の課題の解決に適した場を選んでいるか」「課題解決に向けて選んだ活動を自分なりに工夫しているか」をこれまで学んできたことや追求の視点を使って理由を添えて話したり、書いたりしているかを見取る。
- ・学習カードの記載内容のみならず、観察や発言、聞き取りなどからも評価する。
- ・例えば、授業時の観察を基に、児童のつぶやきやチーム内の言葉を把握して、意図的に発問し、児童の思考等を引き出すことが大切。

39

「学校におけるがん教育の推進」
～外部講師を活用したがん教育～

40

がん教育の目標

- (1)がんについて正しく理解することができるようにする
- (2)健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

具体的内容

- | | | | |
|---|--------------|---|--------------|
| ア | がんとは（がんの要因等） | カ | がんの治療法 |
| イ | がんの種類とその経過 | キ | がん治療における緩和ケア |
| ウ | 我が国のがんの状況 | ク | がん患者の生活の質 |
| エ | がんの予防 | ケ | がん患者への理解と共生 |
| オ | がんの早期発見・がん検診 | | |

※ア～ケの内容を適宜関連付けて理解できるようにする。

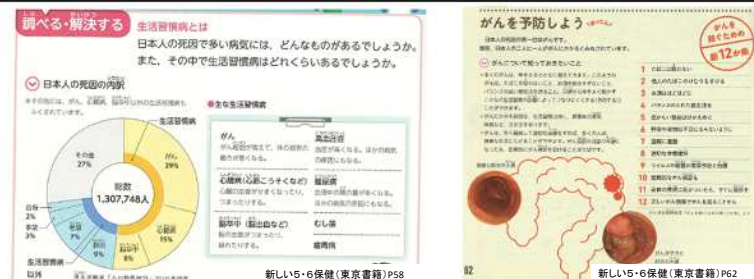
41

①小学校学習指導要領（平成29年3月告示）体育 抜粋

ア 知識

（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

- ⑦ 喫煙については、せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること、受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。



42

②中学校学習指導要領（平成29年3月告示）保健体育 抜粋

ア 知識

（ウ）生活習慣病などの予防

⑦ 生活習慣病などの予防

生活習慣病は、日常生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。

その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で動脈硬化が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

⑧ がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

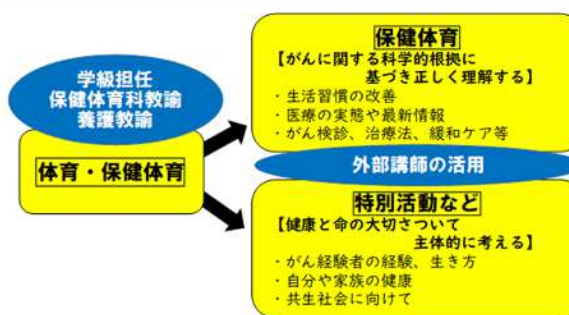
また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、⑦の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、**疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。**



43

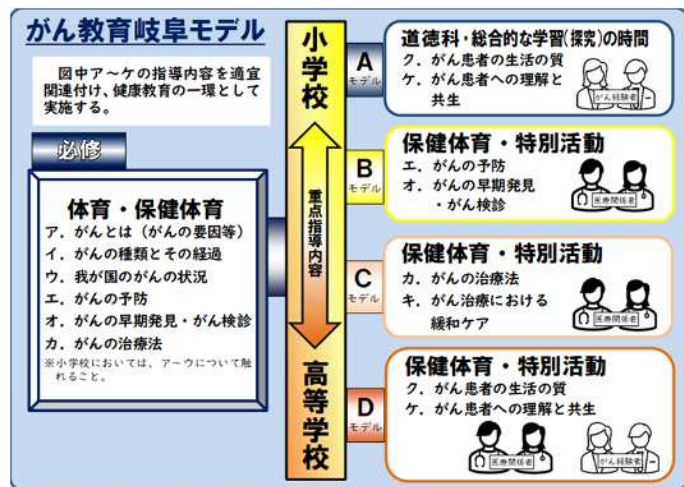
がん教育岐阜モデル



がんについて基本的な内容を学ぶ「体育・保健体育」に、
学校の実情に合わせた「プラス1時間」の2時間構成



44



45

外部講師の指導に期待される効果

- ◎ **わかりやすい例**が児童生徒の理解の深まりにつながる
- ◎ **地域の現状や課題、最新の情報**などを交えながら、既習の内容を関連させた指導が児童生徒の理解の深まりにつながる
- ◎ **自身の経験を交えた命の大切さ**などについての積極的なメッセージが心に響く

46

健康教育の一環としてのがん教育 ～がんについて学ぶ、がんを通して学ぶ～



令和5年度
県事業外部講師派遣数
小学校・・・0校
中学校・・・3校
高等学校・・・2校
特別支援学校・・・0校
その他・・・0

令和6年度
県事業外部講師派遣数
小学校・・・3校
中学校・・・10校
高等学校・・・5校
特別支援学校・・・0校
小中養護教諭部会・・・1

令和7年度
県事業外部講師派遣数
小学校・・・13校
中学校・・・16校
高等学校・・・2校
特別支援学校・・・1校
市学校保健会・・・1



47

「学校保健計画」への位置付け

【図】がん教育を位置付けた学校保健計画の一例

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
保健教育	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法
保健教育	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法
保健教育	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法
保健教育	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法	がんとは何か、がんの予防、がんの早期発見・がん検診、がんの治療法

学校におけるがん教育の手引き 令和5年3月 岐阜県教育委員会 P10より

48

参考資料紹介



49



50

体育・保健体育科教師のマネジメント

<外部講師派遣申請から授業実施までの校内手続き（例）>

	企画・派遣依頼	打合せ	準備・事前指導
学校内	保健主事、授業を担当する保健体育教諭、学級担任等、核となる教員を決め、関係教員と連携しつつ、外部講師の協力を得て行うがん教育を企画する。 □重点とするテーマは、 ・がんに関する科学的根拠に基づいた理解 ・健康やいのちの大切さについて主体的に考える □いつ □だれを講師に □謝金支払いの可否	外部講師と連携した授業の実施に向けて、教員の共通理解を図り、実施内容や関連を回る教育活動等について話し合う。 また、既習事項や関連する活動等の指導構想をまとめて授業のねらいを明確にするとともに、教科書やがん教育に関わる資料（文部科学省スライド資料等）を準備し、外部講師との打合せに備える。	授業当日に児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。 必要に応じて、事前学習や事前指導、アンケート等を行う。 ※通信等で学習について保護者の理解を得るとともに、個別の配慮が必要な児童生徒を把握する。

学校におけるがん教育の手引き 令和5年3月 岐阜県教育委員会 P15より

51

6

相談窓口等

がん患者や専門的な知識を有する外部講師紹介に関する相談や、本手引に対する質問等ございましたら、下記へ問い合わせください。



岐阜県教育委員会 体育健康課 学校保健係
Tel : 058-272-8768
FAX : 058-278-3542
e-mail : C17769@pref.gifu.lg.jp

「がん教育外部講師リスト」は、岐阜県教育委員会ホームページ（学校保健・学校給食・岐阜県公式ホームページで検索）に掲載しています。詳細については、以下のURL又はQRコードより検索してください。

「がん教育 外部講師リスト」（体育健康課 学校保健係）
<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/2640.html>



学校におけるがん教育の手引き 令和5年3月 岐阜県教育委員会 P44より

52

最後に

指導計画が変わる

授業が変わる

子供が変わる

授 業 改 善



53



諸連絡（小学校）

下記URLもしくは二次元コードから事後アンケートにお答えください。

受講後アンケート



<https://logoform.jp/form/T8mB/1097458>

岐阜県の幼児教育実態調査
「幼児期の終わりまでの育ってほしい姿」
について（小学校教諭当）



<https://forms.office.com/r/E4Kmd9mb8G>

ご回答いただいた方から終了となります。
ありがとうございました。

54